

## 「英語」(大阪府公立高校入試に向けて)

～大阪府教育庁が公表した昨年入試結果から見た外部検定の有利性・有効性とは～

大阪府教育庁は、昨年の公立高校入試の結果と分析を7月14日に公表しました(<http://www.pref.osaka.lg.jp/kotogakko/gakuji-g3/>)。ホームページは誰でも閲覧できます。英語に関しては、“X V 英語資格の活用”の所になります。先日の

通信でもお知らせしていますが、大阪府の公立高校入試の英語では、右のような得点の読み替えというものがあ

### 《英語資格(外部検定)の活用》

特別選抜等においては満点の45点、一般選抜においては満点の90点に、受験者が出願時に提出した証明書の写しに応じた読み替え率を掛け合わせて換算した点数(最低保障する点数)と、当日受験した英語の学力検査の点数を比較し、高い方の点数を当該受験者の英語の学力検査の成績とする。

	TOEFL iBT	IELTS	実用英語 技能検定	読み 替え率	最低保証する点数	
					特別選抜等	一般選抜
①	60点~120点	6.0~9.0	準1級	100%	45	90
②	50点~59点	5.5	(対応無し)	90%	41	81
③	40点~49点	5	2級	80%	36	72

90点がもらえるというものです。また、英検2級を取得していれば、72点(90点満点)が保障されます。

ちなみに昨年度この制度を利用して、公立高校入試を受験した人が344人で、その中の47.7%の人しか最低保障点数に到達しませんでした。例えば、一般選抜で、英検2級を持っていても72点取得できなかったあるいはIELTS5.5を取得していても81点取得できなかったという人が半分いるということです。この制度を利用した人は、文理学科受験者が214名と3分の2を占めていました。

外部検定の目標は高いですが、外部試験を利用して受験することはメリットが高いことが分かります。

今年度は、学校の準会場で英検を受験した場合、第3回(1次試験1月20日(土)2次試験2月18日(日))の合格でも学校が証明し、この制度が利用できることになりました。

## 「Step, English」

1年生の教室棟の階段にAndyが、作ってくれました。給食を取りにいている人は、1階～2階に、曜日や月、2階～3階には、会話で使う英語を関西弁で言うとどうなるかという掲示をしています。2、3年生は行く機会が少ないかもしれませんが、覗いて見てください。



## 「2017年度英検第2回」

中宮中学校準会場は、1次試験が10月7日(土)、2次試験は11月5日(日)です。

第2回の英語検定は、2学期始まってすぐ申込み開始になります。申込書は、1学期中に配布します。学校内の申込み〆切は、9月8日(金)です。

## 「英検勉強会」

中宮中学校では、難易度の高い英検級取得(準1級・2級)やTOEFL iBT60点・IELTS5.5-6を目指す放課後勉強会も実施してきました。夏休み期間中は4級や3級の取得を目指す人にも対策をしてほしいという声を聞きましたので、講座を計画しています。参加を希望する人は、7月19日(水)終礼後すぐ(13時10分ごろ)に3年English Roomに集合してください。日程の調整をいたします。講座は、自由に参加できますが、講座外でもしっかり学習できる人を歓迎します。また、講座は学校の授業外ですので、教員の校務・出張により、急遽予定が変更になることがあります。